



▲メンバーと議論を重ねる渡部さん(写真中央)

### 第2回令和作州城東むかし町

とき 5月14日(日)午前10時～午後3時

ところ 城東地区一帯

最新情報は、令和作州城東むかし町ホームページをご覧ください



30回を機にリニューアル  
高齢化が進み、今までどおりの開催が難しくなってきたことや、10月の大隅神社の秋祭りと準備期間が重なり負担が大きいことから、30回を迎えた令和元年を機に、内容や時期の変更を決めました。令和3年から春に変える予定でしたが、コロナ禍で2年連続見送りに、令和5年春の本格始動に向け、昨年11月「第1回令和作州城東むかし町」として、新たな取り組みを

交えて実験的に開催しました。歩行者天国と時代行列をやめ、イベントや露店の会場を東西2カ所と津山洋学資料館に集約。多くのキッチンカーが初めて出店しました。また、出雲街道沿いだけでなく、広範囲な地域の見どころをチェックポイントに盛り込んだスタンプウォークラリーを行いました。1時間ほどかかるコースでしたが、約450人が参加しました。何度も訪れたいまちを目指して

過去何回か掲載してきた「手話で話そう」のコーナーが新しくなりました。年3回、身近なテーマに沿った手話を取り上げていく予定です。言葉を作る動作の一つひとつの意味が分ると、覚えやすくなります。まずは、手話で話す人に出会った時、挨拶できることを目標に、みんなで覚えていきましょう。(一)

町内会を越えた繋がり  
「城東むかし町」は、東新町から橋本町の出雲街道1・2キロメートルを歩行者天国にし、江戸時代の殿様やお姫様などの仮装で練り歩く時代行列、音楽隊や踊り連のパレード、露店などを中心に、平成元年(1989)から続けてきました。実行委員会は、城東地区13町内会の会長と青壮年の会長、町内住民有志の35人ほどで組織しています。委員を中心に開催の4カ月前から準備を始め、住民同士で協力して行います。お客さんに城東の良さを知ってもらえるだけでなく、わたしたちにとっても、町内や地区全体の結び付きを強くしてくれる、大切なイベントです。

市ホームページで、昨年から導入しているAIチャットボット。皆さんからの質問に、AIが自動で答えます。市公式LINEを友だち登録すると、LINEからも利用できます。日中は忙しい人でも、曜日や時間に関係なく、必要な情報を得ることができて便利です。詳しくは22ページをご覧ください。(二)

津山の人・物・技術  
など、明日誰かに自慢  
したくなる津山のいい  
ところを紹介します



## 城東の魅力を広め、地域に活気を！ 令和作州城東むかし町 実行委員会

城東地区の秋の恒例イベント「出雲街道津山城東むかし町」。昨年11月に内容を大きくリニューアルし名称を変更。今年からは開催時期が春に変わります。イベント開催やまちの活性化への思いを、事務局の渡部靖人さんに聞きました。

